

## はじめに

本論集『テキスト分析入門 実践編』は、先に刊行した、松本和也編『テキスト分析入門 小説を分析的に読むための実践ガイド』（ひつじ書房、二〇一六）を「入門（編）」とした「実践編」である。前著においては、テキストを分析するための具体的な観点や切り口の概説、実例の提示を優先し、さらに、限られたスペースで各章を構成したものとなっている。そのこともあって、共著者のみなさまには、何かと不自由な思いをさせてしまったのではないかと思う。

今回、前著の執筆メンバーにお声かけをして、入門につづく実践編として、実際にテキストを分析した論考をお寄せ頂くことになった。前著をベースにしたものやその延長線上にあるもの、さらには、文字通り新たなテキストをとりあげた論考もある。

二〇一六年秋に刊行した前著は、幸いにも増刷の運びとなったが、これについては、共著者のみなさまのお力ということはもちろんだけれど、改めて（広義の）物語論が注目されつつあるという追い風をうけてのことのようにも思う。末尾にあげた参考文献の集中的な刊行は、そのサインともみられよう。

前著とあわせて本書の各論が、この物語論・テキスト分析をめぐるムーブメント(?)に、いささかなりとも寄与できれば幸いである。

最後に、『テキスト分析入門』について、ご多忙中にもかかわらずご寄稿を賜った各氏に深謝申し上げる。

二〇一八年五月

松本 和也

### ▼参考文献

- 菅原克也 『小説のしくみ 近代文学の「語り」と物語分析』（東京大学出版会、二〇一七）  
千野帽子 『人はなぜ物語を求めるのか』（筑摩書房、二〇一七）  
橋本陽介 『物語論基礎と応用』（講談社、二〇一七）